

関大一

女子マネ3人の夢もベンチ入り 主戦が知った「魂をこめ全力で」

今春の選抜大会で準優勝した
実力に、さらに磨きをかけ、抜
群の安定感で勝ち上がった。

野球部創立は関大一の前身、
関西甲種商業学校が開校した一
九一三年。第6回センバツ(全
国選抜中等学校野球大会)で甲
子園に初出場。今春の選抜大会
でそれ以来となる六十九年ぶり
の出場を果たし、決勝に進出し
たが、剛腕、松坂投手を擁する
横浜に敗れた。それ以降、「横
浜に勝てる野球」を目標に新た
なスタートを切った。

しかし、夏の大会までの道の
りは決して楽なものではなかつ
た。春の府大会では、2回戦負
け。もう一度、基本に戻る必要
にかられた。連戦に耐えうるだ
けの体をつくるため、毎日の走
り込みを増やし、百本ノックを
取り入れた。「体をしめ抜い
た選手だけが夏に自分の実力を
発揮できる」という尾崎監督の
信念のもとに、ノッカーと選手
の真剣勝負が始まった。

「もう一歩前に出る」「もう一
本お願いします」。監督とコー
チ、選手の声がグラウンドに響
く量に比例して、選手の体から

無駄な肉が落ち、肩や腰回りが
ひと回り大きくなった。
選抜大会後、エース久保が大
きく成長したことが初代表への

背番号	守備	選手名	投打	試合数	打数	安打	点	二塁打	三塁打	本塁打	三振	四死球	犠打	盗塁	失策	打率	学年	身長cm	体重kg	出身中学(県名)
1	投手	久保 康友	右右	7	23	6	3	3	2	0	6	3	2	0	0	.261	3	180	79	八木(奈良)
2	投手	西本 雅成	右右	7	27	12	12	2	4	0	1	1	1	0	0	.444	3	174	78	豊中十二(大阪)
3	捕手	大谷 重雄	右右	7	24	6	8	2	0	1	7	4	1	0	0	.250	3	182	72	高野台(大阪)
4	一塁	中本 真教	右右	7	25	10	7	0	2	0	0	6	1	1	0	.400	3	170	63	光明(奈良)
5	二塁	川島 史裕	右右	7	20	7	2	2	0	0	3	4	3	0	1	.350	2	184	83	西淀(大阪)
6	三塁	横谷 央宣	右左	7	22	8	8	2	1	0	0	8	1	2	1	.364	3	169	62	新東淀(大阪)
7	遊撃	細谷 保孝	右右	7	27	7	8	0	0	0	2	2	2	1	0	.292	3	173	66	武庫東(兵庫)
8	中遊	三浦 達也	右右	7	21	10	1	0	1	0	1	4	0	4	0	.476	2	166	65	松崎(兵庫)
9	右翼	穂積 雄司	右右	7	26	14	4	3	1	0	1	2	3	3	0	.538	3	170	62	醍醐一(大阪)
10	左翼	藤原 幸平	右右	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	3	180	72	学文(兵庫)
11	投手	工藤 幸平	右右	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1.000	2	173	61	桜台(大阪)
12	投手	西奈良 圭祐	右右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	2	178	75	北稜(大阪)
13	投手	森田 光昭	右右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1	174	62	阿武野(大阪)
14	投手	川本 康仁	右右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	2	176	65	桜丘(大阪)
15	投手	浅井 慎太郎	右右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	2	170	62	北陵(大阪)
16	投手	星 崇之	右右	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1	170	60	西山田(大阪)
【チーム合計】				7	215	82	54	14	11	1	21	34	14	11	2	.381				
				試合数	回数	被安打	奪三振	与四死球		失点										
投手成績	久工	保藤		7	51	23	57	10		2										
				3	3	3	1	1		0										

原動力になった。
久保には忘れられない一球が
ある。今春の選抜大会。準々決
勝で浦和学院と対戦、1点リ